

第6学年 社会科学習指導案

目 標	水平社が創立された当時の時代背景と経過について理解することができる。 (知識・理解) 水平社を創立した人々の思いに迫り，水平社創立の歴史的な意味について考えることができる。 (社会的な思考・判断)	
学 習 活 動	教 師 の 支 援	評 価
1 本時の学習を知る。	水平社のシンボル「荊冠旗」を提示し，感想を述べ合うことにより，本時の学習の方向付けをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 水平社を立ち上げた人々の思いや行動について調べよう。 </div>	水平社が創立された当時の時代背景について理解しているか，発言から評価する。(知識・理解) 水平社創立の経過について理解しているか，発言から評価する。(知識・理解)
2 大正時代の差別されていた人々の暮らしをさぐる。	資料「大正のころ差別されていた人々の様子」を示し，「解放令」以降も仕事・生活・教育等で厳しい差別があった時代背景を押さえる。	
3 差別に対して人々が取り組んだことについて調べる。	「差別に対して人々はどうしたのだろうか。」という問いに対して「運動を起こす」などの反応が予想される。そこで，「簡単にそんなことができたのだろうか。」という揺さぶりをかけ，悩みながらも立ち上がった青年たちの思いに迫る手助けにする。 資料「立ち上がった青年たち」を提示し，人々の思いが分かることや心に残ったところを発表し合うことにより，立ち上がるまでの青年たちの苦悩や努力について理解できるようにする。	
4 水平社宣言などを読んで自分の考えをまとめる。	教科書から全国水平社創立大会の様子を調べたり，資料「水平社宣言」から，差別をなくしていこうとする思いについて考えたりできるようにする。 前時までに学習した女性解放運動や普通選挙運動と関連付けて考えさせることにより，水平社設立の歴史的な意味に迫る。 「荊冠旗」を再び提示し，黒地に赤色の荊冠が描かれた意味などを説明する。	
5 本時のまとめをする。	本時の学習を通して分かったことを自分の言葉でワークシートに記述することにより，本時の学習のまとめとする。	

* 資料は「部落に学ぶ」外川正明著（解放出版社）から抜粋して作成